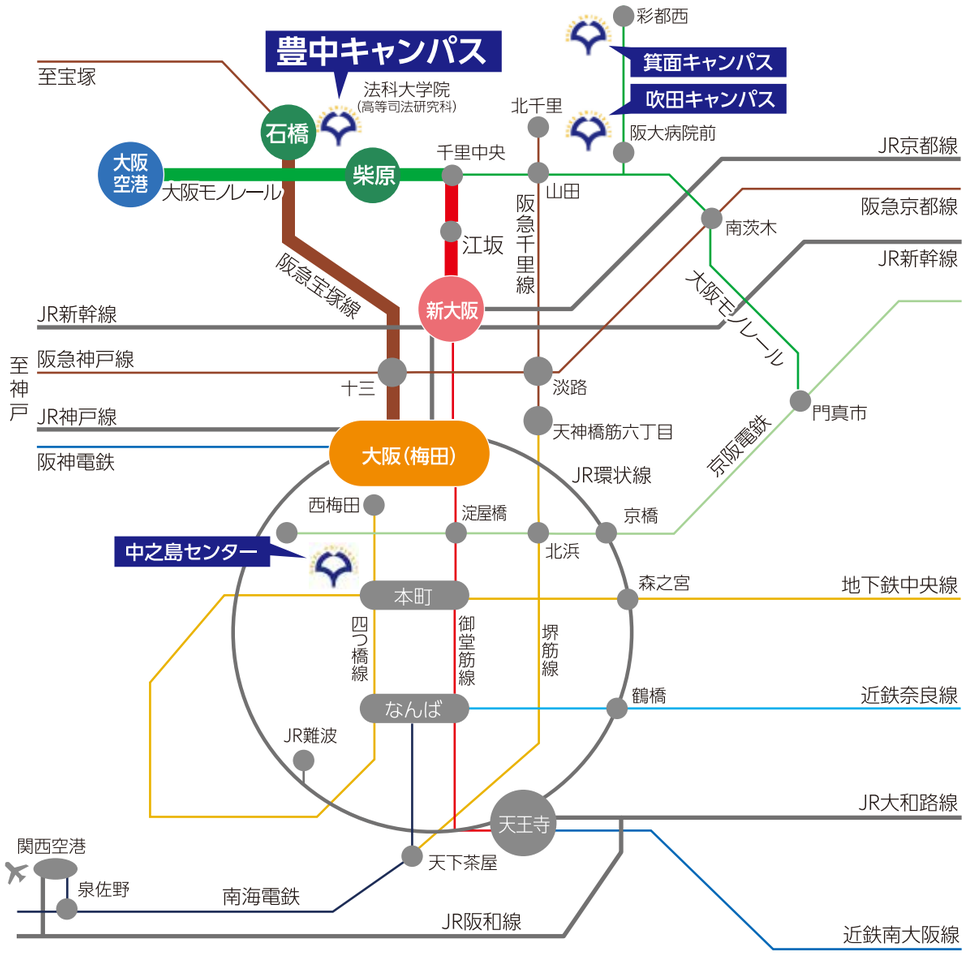
交通アクセス



新大阪駅から

- 新幹線　新大阪駅
- (徒歩約 17 分)
- 大阪市営地下鉄御堂筋線　新大阪駅
- (約 15 分)
- 北大阪急行千里中央駅
- (徒歩約 5 分)
- 大阪モノレール　千里中央駅
- (約 6 分)
- 柴原駅
- (徒歩約 15 分)
- 大阪大学　豊中キャンパス

大阪駅から

- JR 大阪駅
- (徒歩約 10 分)
- 阪急電鉄　梅田駅
- (約 15 分：急行の場合)
- 阪急電鉄宝塚線　石橋駅
- (徒歩約 15 分)
- 大阪大学　豊中キャンパス

大阪国際（伊丹）空港から

- 大阪国際（伊丹）空港
- (徒歩約 5 分)
- 大阪モノレール　大阪空港駅
- (約 6 分)
- 柴原駅
- (徒歩約 15 分)
- 大阪大学　豊中キャンパス

Osaka University Law School

発行者:大阪大学大学院高等司法研究科
発　刊:2017年3月

お問い合わせ

大阪大学大学院高等司法研究科
〒560-0043　大阪府豊中市待兼山町１－６
TEL:06-6850-6948
HPアドレス:
http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/

認証評価「適 合」

2017~2018

大阪大学 法科大学院

大学院高等司法研究科

待兼山から四方（司法）を見渡そう

研究科長　下村 眞美

司法試験予備試験が始まり６年が過ぎた今、なぜ法科大学院で学ぶ必要があるのでしょうか。みなさんの中にはそんな疑問を持っている人もいることでしょう。

法科大学院で学ぶ利点はいろいろありますが、まず第１に失敗が許されます。実務家になってからの失敗は許されませんが、講義室の中ではいくらでも試行錯誤できます。教員や同級生との議論を重ね、失敗した原因を突き詰め、どうすればよいかを考え、よりよい方向に前進できるのです。第２に生涯の友人を得る機会があります。司法修習期間が１年となり、集合修習期間も２回試験の準備に費やされる現状では、司法修習生になってから深く交わる友人を作ることは期待できません。しかし、法科大学院で苦労をともにする２年または３年の間には、法科大学院修了後も長く続く友人関係を築くことが可能です。第３に実務家の先生方と接する機会がたくさんあることです。最先端の事件について考える機会を持つこともできますし、また、実務家の心構え、矜持に触れることにより、全人格的な成長が促されます。

激動する現代社会にあっては、法律の知識だけでなく、幅広い視野と高い倫理観をもって、未来を見据えて問題解決していくことが求められています。わたくしたち高等司法研究科は、豊かな町人文化と実利的な学問を振興させた大阪町人の気風を受け継いで、特色ある入試、積上げ式教育、学生との定期面談、ＩＴを活用した自主学習ネットワークの構築などを実施し、多方面で活躍できる修了生を輩出し、時代の要請にこたえてきました。さらに、修了後の職域拡大のための取組もいっそう幅広く進めています。

枕草子にも記されている、四方を広く見渡せる待兼山にある本研究科は、他人のため、社会のために尽くしたいと考えるすべての人に開かれています。全教職員は、これまで同様、入学されるみなさんが本研究科の学びを糧に高く「飛翔」していくことを全力でサポートします。

教育理念を支える４つの柱

「教育理念」
真の Legal Professionals
高度な法的知識・能力
幅広い人間性　豊かな人間性
厳しい職業倫理

- 現代社会の諸問題への柔軟な対応力
- 理論と実践を架橋する実践的能力
- 複眼的思考による深い洞察力
- 少人数教育 段階的かつ完結的履修

2017 年度入学者選抜の概要

注）特別選抜の内訳は、出願資格ごとに分類したものであり、社会人あるいは他学部卒業者の実数とは一致しない。（　）は女子内数

募　集　人　員			
一般選抜	６０人程度	法学既修者コース	５０人程度
		法学未修者コース	１０人程度
特別選抜※	２０人程度		

※社会人・他学部（他学科）卒業者を対象

志　願　者							
一般選抜			特別選抜				計
法学未修者コース	法学既修者コース	小計	他学部	社会人	社会人・他学部	小計	
35	210	245	14	7	6	27	272(77)

2017 年度入学者選抜合格者の概要

合　格　者							
一般選抜			特別選抜				計
法学未修者コース	法学既修者コース	小計	他学部	社会人	社会人・他学部	小計	
30	87	117	9	5	4	18	135(34)

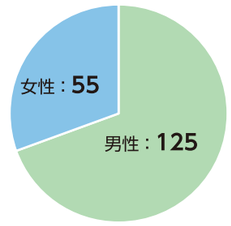
主な出身大学

京都大学	38
大阪大学	30
神戸大学	15
同志社大学	10
立命館大学	6
関西大学	5

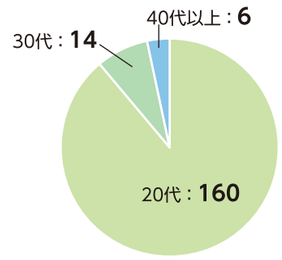
在籍者の概要

2016年5月1日現在

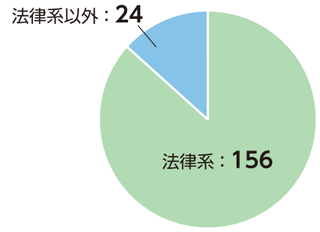
在籍者数　180（内社会人 18）



性別



年齢



出身学部

司法試験の結果

	受験予定者数	受験者	短答式試験合格者	最終合格者
2016 年	168	157	119	42
2015 年	180	165	125	48
2014 年	153	137	109	55

法科大学院を支える専任教員

研究者・実務家の専任教員 23 名のほか、大阪大学大学院法学研究科所属教員と、法曹界の第一線で活躍する実務家の非常勤教員を含め総数 114 名（平成 29 年度予定）が携わります。

研究者教員　18 名

公法

憲法
松本 和彦 教授
憲法応用　環境法

憲法
片桐 直人 准教授
憲法基礎 1　導入演習　情報法

憲法
村西 良太 准教授
憲法基礎 2

行政法
野呂 充 教授
行政法応用 1　行政法応用 2
公法総合演習
特殊講義 A（政策実践と法）

税法
谷口 勢津夫 教授
税法 1　税法 2　税法演習
企業課税法

民事法

民法
千葉 恵美子 教授
民法応用 1　民法応用 4
民事法総合演習　金融法

民法
松井 和彦 教授
民法基礎 2　民法応用 2　導入演習

民法
青竹 美佳 准教授
民法基礎 4

民法
髙橋 智也 准教授
民法基礎 3　民法応用 3

商法
久保 大作 教授
会社法基礎

商法
松尾 健一 准教授
会社法応用 1　会社法応用 2
民事法総合演習　金融商品取引法

民事訴訟法
名津井 吉裕 教授
民事訴訟法基礎

民事訴訟法
藤本 利一 教授
民事訴訟法応用 2
民事法総合演習　倒産法基礎 1
倒産法基礎 2　倒産法応用
倒産法演習

刑事法

刑法
島岡 まな 教授
刑法応用 1　刑法応用 2
刑事法総合演習

刑事訴訟法
水谷 規男 教授
刑事訴訟法応用
裁判実務基礎（刑事）
模擬裁判（刑事）　少年法

諸法

知的財産法
茶園 成樹 教授
知的財産法 1　知的財産法 2

社会法
水島 郁子 教授
労働法基礎　労働法応用
労働法演習　社会保障法

基礎法

法制史
三阪 佳弘 教授
法理論　比較法史

実務家教員　5 名

民事訴訟法
下村 眞美 教授
民事訴訟法応用 1　民事回収法

知的財産法
青江 秀史 教授
ベンチャー社会と法
ベンチャー法ワークショップ
知的財産法演習

川上 良 特任教授
民事法総合演習　民事手続法概論 2　弁護実務
倒産法演習

後岡 良知 特任教授
法曹倫理

世森 亮次 特任教授
裁判実務基礎（民事）　模擬裁判（民事）

（平成 29 年 4 月 1 日現在）

カリキュラムの基本コンセプト

法律基本科目

公法系、民事系、刑事系の科目は、基礎→応用→総合と着実に知識と能力を積み上げていけるような段階的履修モデルを提供し、高度な法的知識・能力を培います。

総合（3年次）
総合的な事例問題を、理論と実践、実体法と手続法など異なる視点から検討し、積み上げ型学修の総仕上げを行う。

応用（2年次）
基礎科目で習得した基礎学識を応用する力を、事例研究などを通じて身につける。法学既修者は基礎科目を習得したものとみなし、応用科目から学び始める。

基礎（1年次）
法学未修者が法科大学院の講義に耐えうるだけの法律学の基礎的な学識を習得する。

■ 区分	■ 科目名	
公法系科目	憲法基礎１	■
	憲法基礎２	■
	憲法応用	■
	行政法基礎	■
	行政法応用１	■
	行政法応用２	■
	公法総合演習	■
民事系科目	民法基礎１	■
	民法基礎２	■
	民法基礎３	■
	民法基礎４	■
	民法応用１	■
	民法応用２	■
	民法応用３	■
	民法応用４	■
	会社法基礎	■
	会社法応用１	■
	会社法応用２	■
	コーポレート・ガバナンス	■
	民事訴訟法基礎	■
	民事訴訟法応用１	■
	民事訴訟法応用２	■
	民事手続法概論１	■
	民事手続法概論２	■
	民事法総合演習	■
刑事系科目	刑法基礎１	■
	刑法基礎２	■
	刑法応用１	■
	刑法応用２	■
	刑事訴訟法基礎	■
	刑事訴訟法応用	■
	刑事法応用	■
	刑事法総合演習	■
その他	導入演習	■

■ 基礎科目　■ 応用科目　■ 総合科目

法律実務基礎科目

法曹としての基礎的な実務能力および責任感・倫理感を身につける核となる必修科目に、幅広い分野で理論と実務を架橋し応用能力の深化を図る選択必修科目を合わせて約 20 科目開設しており、主に実務家教員が担当します。

■ 科目名	■ 配当年次
法曹倫理	2
裁判実務基礎(民事)	2
裁判実務基礎(刑事)	3
ベンチャー社会と法	1,2又は3
刑事法律文書作成１	2又は3
刑事法律文書作成２	2又は3
公法訴訟	3
弁護実務	3
エクスターンシップ１	2又は3
エクスターンシップ２	3
模擬裁判(民事)	3
模擬裁判(刑事)	3
リサーチ＆ライティング１	1
リサーチ＆ライティング２	2
債権保全・回収の実務	3
特殊講義Ａ（企業再建の実務）	3
特殊講義Ａ（民事裁判実務演習）	3
特殊講義Ａ（リーガル・プロフェッションの最先端）	1,2又は3
特殊講義Ａ（政策実践と法）	2又は3

基礎法学・隣接科目

法曹としての素養を深めることを目的とした基礎法学分野、隣接諸分野に関する科目で、幅広い教養から豊かな人間性を培い、複眼的思考による深い洞察力を養うものです。約 10 科目から２科目の選択必修となっています。

■ 科目名	■ 配当年次
法理論	1
法理学	1,2又は3
比較法史	1,2又は3
法社会学	1,2又は3
ローマ法	1,2又は3
現代政治学	1,2又は3
現代行政学	1,2又は3
法と経済学	2又は3
財務報告戦略	2又は3
生命倫理と法	2又は3

展開・先端科目

法曹としての専門性をさらに高め（A）、現代社会における最先端の法的諸問題への柔軟な対応力と学識を涵養する（B）とともに、学生個々のキャリアプランに基づく様々な教育ニーズが満たされるよう 40 以上の多種多様な科目を開設しています。特に学生の関心が高いと思われる**「知的財産法」「ビジネス法」**に関する科目を充実させ、３つの具体的な履修モデルを提案しているのが本学の特徴です。

●知的財産権に関する専門的法曹を目指すなら

履修モデル１　知的財産権プログラム

知的財産保護の具体的な仕組みや紛争の処理、知的財産と技術との関係、国際的な知的財産保護の枠組みなどを重点的に学ぶ。
……知的財産法１・２／技術知的財産法／国際知的財産法
経済法１・２　等

●企業取引・企業法務に関わる法曹を目指すなら

履修モデル２　企業関係法プログラム

企業取引や買収・合併、倒産処理、裁判外紛争処理等の企業の活動に伴う様々な法律問題を系統的に学ぶ。
……会社法基礎／会社法応用２／経済法１・２
金融商品取引法／倒産法基礎１・２／倒産法応用
民事回収法／国際取引法／財務報告戦略／企業課税法　等

●ベンチャー企業立ち上げを支援する法曹を目指すなら

履修モデル３　起業支援法プログラム

ベンチャーに関わる様々な法的問題にどのように対応すべきかを重点的に学ぶ。
……ベンチャー社会と法／会社法基礎 / 会社法応用２
環境法／税法１・２／ベンチャー法ワークショップ
労働法基礎／労働法応用／財務報告戦略　等

	■ 科目名	■ 配当年次
A	倒産法基礎１	2又は3
	倒産法基礎２	2又は3
	倒産法応用	3
	倒産法演習	3
	税法１	2又は3
	税法２	2又は3
	税法演習	3
	経済法１	2又は3
	経済法２	2又は3
	経済法演習	3
	知的財産法１	2又は3
	知的財産法２	2又は3
	知的財産法演習	3
	労働法基礎	2又は3
	労働法応用	2又は3
	労働法演習	3
	環境訴訟	2又は3
	環境法	3
	国際法１	2又は3
	国際法２	2又は3
	国際私法１	2又は3
	国際私法２	2又は3
	国際取引法	2又は3
B	民事回収法	2又は3
	企業課税法	3
	消費者法	3
	金融法	2又は3
	金融商品取引法	3
	社会保障法	3
	少年法	2又は3
	技術知的財産法	3
	国際知的財産法	3
	ベンチャー法ワークショップ	3
	国際法３	3
	国際民事訴訟法	3
	信託法	3
	課題研究１	3
	課題研究２	3
	特殊講義Ｃ（特許・著作権訴訟）	2又は3
	特殊講義Ｃ（高度情報通信社会における知的財産戦略論）	1又は2
	特殊講義Ｃ（アジア知的財産法）	2又は3
	特殊講義Ｃ（外国文献研究１）	2又は3
	特殊講義Ｃ（外国文献研究２）	2又は3

必修科目　選択必修科目　選択科目

学生生活

1 年次

4月　未修者入学
春～夏学期開始

在学生リポーター

1年生
百田　実未さん
同志社大学
法学部卒業

週間スケジュール

		月	火	水	木	金
1	8:50 | 10:20		民法基礎2		民法基礎2	
2	10:30 | 12:00	刑法基礎1			導入演習	
3	13:00 | 14:30			法理論	導入演習	民法基礎1
4	14:40 | 16:10			民法基礎1		
5	16:20 | 17:50		憲法基礎1		特殊講義A（リーガル・プロフェッションの最先端）	
6	18:00 | 19:30					

まっちゃ会

5月　コンタクト・ティーチャー
定期面談
6月
7月
8月　期末試験・講評期間
成績発表
9月　夏休み

合格体験報告会

10月　秋～冬学期開始

週間スケジュール

		月	火	水	木	金
1	8:50 | 10:20				憲法基礎2	
2	10:30 | 12:00	会社法基礎	刑法基礎2	民事訴訟法基礎	民法基礎4	会社法基礎
3	13:00 | 14:30		行政法基礎			刑事訴訟法基礎
4	14:40 | 16:10	民法基礎3				
5	16:20 | 17:50			民法基礎3		
6	18:00 | 19:30					

11月　コンタクト・ティーチャー
定期面談
12月
1月
2月　期末試験・講評期間
成績発表
3月　春休み

対話型授業に適した少人数クラス

クラス編成は1クラス40名程度。学生は事前に出される課題に解答を用意して授業に臨む。特に必修科目は、1回につき3～4時間の予習が前提。授業は緊張感のある問答によって院生の発展的思考を引き出す目的で、教員の質問に学生が答える形式（対話型授業）で進められる。時には議論となって盛り上がることも。こうした経験を通じて基礎知識の定着・応用力の涵養をはかっている。

まっちゃ会・合格体験報告会

学生・教員・OB・OGによる年に数回の交流会。ロースクール内の学生自治組織である学生委員会が企画するもので、4月には新入生を交えて開催されます。学生委員会は自分たちで快適な学修環境を創り出すことを目指して活動しており、9月には司法試験に合格した修了生の体験談を聞く報告会も実施しているほか、教員との懇親会も企画するなど、学生間の横のつながりだけでなく、教員や先輩と交流しさまざまなことを教えていただける有意義な機会を用意しています。

院生談話室

24時間使用可能。パソコン・プリンター・コピー機やドリンクの自販機を備えた学生のリフレッシュスペース。学生には学期ごとにコピーカードが支給され、学内で900枚が無料コピーできる。Wi-Fiが完備され、ネット環境も充実。

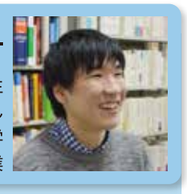
再チャレンジ支援プログラム

通称「再チャレ」。純粋未修の学生、つまり、社会人や他学部卒の学生を支援する目的のプログラムです。未修の学生を含む自主勉強会にOB・OG弁護士アドバイザーが参加し、学習をサポートしてくださいます。現役弁護士の先生は学期ごとに1グループ5回程度、1回につき3時間参加し、答案の書き方、問題の考え方なども含めた細かな疑問にその場で対応。有意義な質疑応答を通じて司法試験に向けた学習を深めていくことができます。

2 年次

4月　既修者入学
春～夏学期開始

在学生リポーター



2年生
小川　晃史さん
北海道大学
法学部卒業

週間スケジュール

		月	火	水	木	金
1	8:50 | 10:20		会社法応用1			リサーチ&ライティング2
2	10:30 | 12:00	裁判実務基礎（民事）	倒産法基礎1	民法応用1	刑事法応用	刑事訴訟法応用
3	13:00 | 14:30					
4	14:40 | 16:10			憲法応用		行政法応用1
5	16:20 | 17:50					
6	18:00 | 19:30					

まっちゃ会
5月　コンタクト・ティーチャー
定期面談
6月
7月
8月　期末試験・講評期間
成績発表
9月　夏休み
合格体験報告会
10月　秋～冬学期開始

週間スケジュール

		月	火	水	木	金
1	8:50 | 10:20					民法応用2
2	10:30 | 12:00	民事訴訟法応用1	倒産法基礎2	会社法応用2		
3	13:00 | 14:30			刑法応用1		
4	14:40 | 16:10				法曹倫理	法社会学
5	16:20 | 17:50	行政法応用2		少年法		
6	18:00 | 19:30					

11月　コンタクト・ティーチャー
定期面談
12月
1月
2月　期末試験・講評期間
成績発表
法律事務所の
エクスターンシップ
3月　春休み

コンタクト・ティーチャー定期面談

年に2回、5月と11月に専任教員による定期面談があります。期末試験の成績などのデータに基づいて、学習方法や今後の学習計画についてアドバイスを受けます。進路についても相談にのっていただけます。これまでの自分を反省したり、今後の目標を明確にしたりすることができる機会です。

法科大学院専用講義室

多数の専用講義室や総合セミナー室が設けられている。

授業改善アンケート

教員が対話型授業に必要となる高度な教育能力を磨くとともに授業改善を担保する目的で、学生に学期の中盤で実施。同じ目的で、教員研修や学外講師を招へいした学生参加型の模擬授業も開催している。

オフィスアワー

学生の質問に答えるため先生方が設けてくださっている時間帯です。オフィスアワー以外にも、授業の前後など熱心に対応してくださいます。先生方はまっちゃ会、そして時には期末試験の打ち上げにも参加されるなど、学生とのつながりを大事にしてくださっています。

自主ゼミ

学生どうしで自然発生的に行われているグループ学習です。「司法試験は団体戦」と言われます。授業の予習復習と自学自習のバランスを考えつつ学習計画を立て、自律的に学習を進めるのが基本ではありますが、友達どうしで自主ゼミを組んで授業でわからないところを教え合ったり期末試験に向けての対策を行ったりするなど、助け合うとともに切磋琢磨する雰囲気があります。2年次後半からは法律事務所や企業法務のエクスターンシップが控えており、2年次春～夏学期までの成績をもとにして受け入れ先が決まるため、エクスターンシップを念頭に期末試験対策に力が入ります。

ローライブラリー

法律関係の図書を所蔵している。学習に必要な判例等を検索できるDVD（最高裁判所判例解説、旬刊金融法務事情、金融・商事判例、判例タイムズ、ジュリスト、判例百選）やLEX／DBなどのインターネット・リソースが利用可能となっている。

学生生活

3 年次

4月　春～夏学期開始

在学生リポーター

3年生
小草　啓紀さん
大阪大学
経済学部卒業

週間スケジュール

		月	火	水	木	金
1	8:50 – 10:20		模擬裁判（刑事）		模擬裁判（刑事）	商法基礎
2	10:30 – 12:00				刑法応用2	
3	13:00 – 14:30	民法応用3		民事訴訟法応用2		
4	14:40 – 16:10	金融商品取引法				
5	16:20 – 17:50	特殊講義A				
6	18:00 – 19:30					

まっちゃ会

5月　コンタクト・ティーチャー定期面談

6月

7月

8月　期末試験・講評期間
成績発表

法律事務所・企業法務のエクスターンシップ

9月　夏休み
合格体験報告会

10月　秋～冬学期開始

11月　コンタクト・ティーチャー定期面談

12月

1月

2月　期末試験・講評期間
成績発表

3月　特待修了生採用

修了式

模擬法廷

法廷実務及びプレゼンテーション能力をはじめとする法廷技術の実践的な学修を行う施設を備えている。

司法試験シミュレーション

実際の司法試験のスケジュールで5日間、過去問を解く企画です。夏休み中に開催されており、年によっては、京都大学・神戸大学のロースクール生と合同で実施することもあります。

法科大学院専用自習室

学生一人ひとりに固定の席が割り当てられているので、授業の予習、復習など自分のペースで学習が行える環境になっています。24時間開放されているので助かります。

エクスターンシップ

授業の一環として法律事務所・企業法務部門・地方公共団体等において法律実務を体験し学ぶ研修制度。将来どのような分野で法律事務に携わって行きたいのか、自らの適性や能力に照らしてキャリア形成を考える貴重な機会。

週間スケジュール

		月	火	水	木	金
1	8:50 – 10:20		裁判実務基礎（刑事）			
2	10:30 – 12:00			経済法演習		
3	13:00 – 14:30					
4	14:40 – 16:10					法社会学
5	16:20 – 17:50			少年法		
6	18:00 – 19:30					コーポレート・ガバナンス

修了生勉強会

法科大学院を修了したあとに自主勉強会をおこなう場合も、再チャレンジ勉強会同様にOB・OGの弁護士アドバイザーが配置され効果的な自主学習を支えてくださいます。

同窓会

年1回の懇親会や同窓会名簿の作成・配布などを通じて修了後も阪大ロースクール生同士の親睦を深めることができます。

5月　司法試験

9月　司法試験合格発表

修了生への支援

成績上位20名は特待修了生に採用され、4～9月のあいだ、在学生とは別の院生研究室を自習室として無料で利用可能。特待修了生以外も有料で利用できる。

在学生からのメッセージ　～阪大で司法試験に挑む～

「授業外のサポートが充実」　若林 直樹さん（1年生）

2016年度入学（未修）
大阪大学外国語学部卒業

私は、法学部出身ではなく、また一度社会人を経験していましたので、入学当初、法律知識が全くと言っていいほどありませんでした。そもそも、法律をどのように勉強すべきなのかが分からなかったことから、授業の予習・復習を中心に勉強していました。

入学当初は、「正しい」勉強法ができているのだろうか、と不安でいっぱいでした。しかし、今振り返ると、授業についていくことが、「正しい」勉強法になっているので、全く知識がない者でも、授業で与えられた・教えられた内容をこなしていくだけで、十分に法律の知識がつくようになっています。私のように勉強方法すら分からず不安になっているような方も、安心していただいて良いと思います。

また、授業で理解できなかった疑問点については、授業前後だけでなく、授業外でも先生方が対応してくださるので、授業外のサポートが充実しているのも魅力的です。

「質の高い授業に感動」　船津 有貴さん（2年生）

2016年度入学（既修）
同志社大学法学部卒業

私は2016年4月に大阪大学に既修者として入学致しました。恥ずかしながら私は、学部時代は好きな科目ばかりを履修しておりましたため、各科目の習得状況に著しい偏差が出来てしまいました。興味のない科目を付け焼刃的にしか学んで来なかったために、既修者にもかかわらず、最初は授業について行くことすら困難な状態だったのです。しかし、本学の先生方の丁寧なご指導や答案添削のおかげで、入学した後ようやく既修者らしい知識と答案作成能力を習得するに至りました。また、好きな科目に関しましても、先生方の質の高い授業によって、毎回新たな知見を得ることができ、時には感動すら覚えることもありました。このように、大阪大学は私にとって、すべての授業で充実感を得られる他に無い場所です。

この素晴らしい環境の中で、皆さんと切磋琢磨出来る日が参りますことを楽しみにしております。

「恵まれた学習環境」　津田 里紗子さん（2年生）

2016年度入学（既修）
神戸大学法学部卒業

本学の魅力の一つとして、恵まれた学修環境が挙げられます。

ロースクールでは、毎日朝から授業を受けて夜中まで自習する生活の繰り返しです。ロースクールに進学する前は、そんな生活考えられない！と思っていましたが、今その生活を案外楽しくできている私がいます。それは、ひとえに周りの方々に恵まれていることが理由だと思います。

先生方は皆さん優しく、授業に関する質問はもちろん、そうでない質問にも丁寧にお答えいただけます。授業は基礎から応用まで網羅されているので、授業の予習、復習をするだけでも、学部生の時より何倍も理解が深まります。授業外でも私たち学生の学力向上のために様々な面からサポートしてくださいます。また、学生同士も大変仲が良く、自主ゼミなどを通して互いに切磋琢磨しています。

このように、人に恵まれた学修環境で勉強できることは、ロースクール生活において最も重要だと思いますが、実際に自分が周りの人に恵まれていると思いながら勉強できる環境は極めて少ないと思います。そんな中、そう思える本学で学習できることをうれしく思っています。

「勉強にとことん打ち込める場所」　八木 康友さん（2年生）

2016年度入学（既修）
一橋大学法学部卒業

私は法学部出身ですが、学部時代には自分に合った法学の勉強方法がわからず、あまり勉強に打ち込めませんでした。そして、私はそのような先行き不安な状態で本学に入学し、法曹を目指す同志と共に学ぶという環境に飛び込むことになりました。ですが、今ではそれなりに勉強方法がつかめるようになり、勉強に打ち込めるようになりました。ここではその理由を皆さんに伝えたいと思います。

一点目は、周囲にいる人々がみな同じ目標を持つ者であり、その数だけある勉強方法を参考にできたことです。本学は自由な校風のせいかみな人当たりがよく、どのように勉強しているか等快く教えてくれます。

二点目は、充実した学修環境が整っていることです。本学では、24時間利用できる自習ブースが学生一人に対して一つずつ割り当てられます。それにとどまらず、自習室から目と鼻の先にあるロースクール生専用の図書館であるローライブラリー、友達と思う存分議論することのできる談話室、も完備されています。

このように、本学は学習意欲さえあれば自分を飛躍的に成長させられる場所であり、かくいう私も本学に入学してよかったと思っています。本学で皆さんとともに学べる日を楽しみにしています。

一貫した支援体制　～入学前から修了後まで～

入　学　前

合格者専用ホームページ

入学までの主な伝達をこのサイトを通じて行っています。

スプリングスクール

春季休業中に入学前準備講座を開催し、入学後の授業にスムーズに適応できるよう支援しています。

在　学　中

自習室　24 時間利用可能　P.9

再チャレンジ支援プログラム　P.7

社会人・他学部出身者など、純粋未修の学生を中心とする自主勉強会には、本学ＯＢ･ＯＧの弁護士アドバイザーを配置しています。２年又は３年という短期間で司法試験に合格する水準にまで学力を引き上げるには、授業への真摯な取り組みに加えて、効果的な自主学習が重要な鍵となります。本学の特徴のひとつとして、この自主学習を在学中から修了後にいたるまで支援する重層的な仕組みが挙げられます。

OULS’ SA（オルサ）掲示板

弁護士アドバイザーが参加する自主勉強会での有意義な質疑応答をその場限りに終わらせず、専用の WEB 掲示板上にデータとして蓄積するシステムを提供。勉強会に参加していない学生でも学習・就職・生活に関する質疑の記録を閲覧でき、弁護士アドバイザーも時間的・場所的な制約なしに意見交換や情報共有が可能です。本学修了後も引き続き利用できます。

学期ごとに 900 枚無料コピー　P.7

オフィスアワー　P. 8

教員が研究室で学生の質問を受け付けるための時間帯を設けています。

Wi-Fi 環境の完備　P.7

コンタクト・ティーチャー　P. 8

専任教員がコンタクト・ティーチャーとなり、定期面談を通じて個々の学習を支援するシステムです。過去の司法試験合格者のデータと比較しながら客観的な状況を正確な数値データとして確認し､アドバイスを行います。面談記録データや成績基礎資料データは学内ネット上で管理しており、組織的な学生支援の基盤として機能しています。

修　了　後

自習室の継続利用　P.9

智適塾のインターン

経験値の高い弁護士・弁理士（主幹・副主幹）と、本学の修了生である若手弁護士・弁理士（インターン）がチームとなり、大学内の研究活動やベンチャーを支援。理系研究室の産学連携事案だけでなく文系部局における著作権マニュアルの作成など、幅広い領域にわたります。このインターンは新人弁護士のキャリア支援にとどまらず、法科大学院の新たな教材や講義開発にも関わっており、より実践的な法学教育が在学生に還元されています。

修了生勉強会　P.9

自主学習の支援体制は修了後にも用意されています。本学の修了生による自主勉強会には、在学中と同様に弁護士アドバイザーを配置し、効果的な自主学習を支援しています。

修了生専用ホームページ

修了生向けの各種イベント情報等を掲載。修了後のフォローアップに努めています。

リスタートの会

司法試験合格がかなわなかった人を対象に、次年度の合格に向けて相談会を開催しています。

学　費

入学料	282,000 円（予定）
授業料（年額）	804,000 円

授業料免除

本学は、学費負担者の死亡や風水害等の罹災、その他経済的理由により入学料や授業料の納入が困難な学生への経済的支援として、入学料・授業料の免除（収納猶予・分納）の制度を用意しています。

奨 学 金

日本学生支援機構（大学院奨学生）奨学金の適用があります。

修了生からのメッセージ　～法曹を目指す皆さんへ～

弁護士

中野 知美 さん

弁護士・法律事務所かなめ
香川大学法学部卒業
2009年　4月　大阪大学法科大学院（未修）入学
2012年　3月　大阪大学法科大学院修了
2012年　9月　司法試験合格
2013年12月　鈴木俊生法律事務所へ入所
2016年12月　法律事務所かなめへ移籍

「弁護士の仕事は、依頼者の皆様が、心に抱えた重荷を下ろし、前を向いて歩き出すためのお手伝いをすることだと考えております。」

これは、私が事務所のホームページの自己紹介文で書いた言葉です。

法律実務家になって丸３年を迎えましたが、仕事をしていて早い段階でぶつかった壁は、「法律では解決できないことの多さ」でした。

弁護士へ持ち込まれる案件の中には、法的に検討した場合、どう転んだとしても「勝ち目」のない案件も多く存在します。このような場合、それでも依頼者にとって最善の解決とは何かを考えなければならないとすれば、弁護士は、法律や判例を知っているだけでは何の役にも立ちません。

依頼者に、今置かれた状況を、誤魔化すことなく適切に説明する「説明力」、その上で、相手方との間で交渉する「交渉力」、そしてこれらを行うために必要となる、先を見通すための「想像力」。これらが伴って初めて、依頼者がその重荷を預けることができる信頼を得られると思っています。毎日が、学ぶことだらけの日々です。

今は、司法試験に合格することがゴールだと思います。

心の片隅に、法律実務家になろうと決めた時の初心を置いて、まずはそのゴールまで全力で走り抜けて下さい。その先にまた、新しいゴールが見えてきます。

弁護士

今村 敏 さん

大阪大学知的財産センター特任研究員
弁護士・アスカ法律事務所
京都大学工学部工業化学科卒業
2010年　4月　大阪大学法科大学院（未修）入学
2013年　3月　大阪大学法科大学院修了
2014年　9月　司法試験合格
2016年　1月　アスカ法律事務所へ入所

法曹を目指す皆様は、なりたい法曹像をすでに持っておられる方も多いと思います。もっとも、まだあまりきちんと考えていないという方も焦る必要はありません。なんとなく人の役に立つ仕事がしたい。弱い者の味方になり手助けがしたい等でも十分だと思います。法科大学院はそれをじっくり考えるための機関・期間です。実際、私の周りも法科大学院入学以降に目指す法曹像が変わられた方も多かったように感じます。私は理系出身であり知的財産法に関心をもって法曹を志したという経緯以上には深く法曹像を描かぬまま、知的財産法やビジネス関連の講座が充実しているという理由で大阪大学を選びました。しかし、実際に入学してみると知的財産法関連の講座のみならず、それ以外の科目においても基礎・応用・実務講座のすべてが充実し、中には社会人基礎力向上に主眼を置く授業もあり、法律だけでなくマネジメント能力、アセスメント能力、組織ダイナミズム等も学ぶことが出来ました。また生徒との距離感も近く熱心に指導し人格的に尊敬できる先生方、充実した自習室・図書館等の設備、時には熱く議論し、辛い時には励まし合える仲間の存在とすべてにおいて恵まれていました。実務では学生時代想定していなかった様々な事象に出会いますが、そのときに解決の糸口となるのは大阪大学で培った基礎力及び出会った人々であることが非常に多いです。

本学の後輩、法曹の後輩として皆様とお会いできる日を楽しみにしています。頑張って下さい。

検察官

久岡 修平 さん

那覇地方検察庁沖縄支部検事
立命館大学法学部卒業
2005年　4月　大阪大学法科大学院（未修）入学
2008年　3月　大阪大学法科大学院修了
2008年　9月　司法試験合格
2009年12月　東京地方検察庁本庁
2011年　4月　福岡地方検察庁本庁
2013年　3月　大阪地方検察庁本庁
2015年　4月　那覇地方検察庁沖縄支部

私は、現在、那覇地検沖縄支部で検事として勤務しています。

私が検事に興味を持ったきっかけは、阪大ロースクールにおいて、派遣教員として来られていた現職の検事や元検事の講義を受けたことでした。それまでは、正直、検事や裁判官についてはほとんど知らず、司法試験に合格すれば弁護士になると漠然と思っていました。その後、司法修習において、更に検事への興味が強くなり、ロースクール時代の友人に相談したりした結果、検事になろうと決意したのです。

他のロースクールで学んだことがないので、比較をすることが出来ないのですが、私にとって、阪大ロースクールで過ごした期間はとても有意義な時間でした。それは、検事として働くきっかけをもらえたことだけでなく、共にロースクール生活を送った友人達の存在が、現在の私にとって、財産とも言えるようになっているからです（今でも一緒に飲んだり、たまに旅行に行ったりしています。）。

また、学修環境という面でも阪大ロースクールは素晴らしいものでした。教授の方々からの指導を望む学生に対しては熱心に指導してくれていましたし、マイペースに勉強をしたい学生には自習室やゼミを行う部屋などの施設が充実しており、それぞれの学生の特性に合わせて勉強ができる環境でした。私自身、今でも、阪大ロースクールで元検事の教員から言われた「実務に就いてからは、事実認定能力がもっとも大切である」という言葉を忘れずに意識し、正しい事実認定が出来るように心がけて日々の仕事をしています。

学んだロースクールが大阪大学であったことについては、改めて本当に良かったと思っています。

裁判官

岩谷 彩 さん

和歌山地方裁判所判事補
大阪大学法学部卒業
2013年　4月　大阪大学法科大学院（既修）入学
2015年　3月　大阪大学法科大学院修了
2015年　9月　司法試験合格
2017年　1月　和歌山地方裁判所判事補

私は阪大法科大学院修了後、司法修習を経て、裁判官として働き始めています。進学の際は、学歴や合格率等いろいろな要素で他の大学院と迷いましたが、結局試験の合格には、自分で努力ができそれを高めてもらえる環境が最も重要で、学部から知っている阪大の環境が自分に最適だと感じたため、そのまま進学しました。

阪大の先生は質問や相談のための時間をいつでも取ってくださり、懇親会にも気軽に参加してくださる学生思いの方ばかりで、学生間も自主ゼミ等で情報共有や協力をし合う厳しすぎず緩すぎない良い雰囲気だったので、毎日がとても楽しく、ストレスも最小限で受験勉強に向かうことができました。学生のための設備も充実しており、これらの環境がそろっている点は阪大のどこにも劣らない魅力だと思います。

また、ここでは現場とも学部の講義とも違う、実務に近い判例や法律の基礎的な考え方、文書の作成法等、法律家の根本として必要となる能力をじっくり育てていただき、それは２年間法科大学院に通ったからこそ身についた貴重な財産でした。

ですが、私が阪大法科大学院に進学して良かったと思えるのは、何より人との繋がりを得られた点においてです。ここでは実務家の先生方の講義や、海外・様々な職種の第一線で活躍されている方々の講演会・懇親会の機会に本当に恵まれており、その方々との繋がりは今も実務の世界の中で私の支えになっています。大学院進学前はいわゆるマチベンを目指していた私が、今裁判官という職業に就いているのも、ここで派遣裁判官の方の講義を受講したことがきっかけです。

修了後も先生方・同期と繋がりを持ち続けられ、様々な行事に声がかかるなど今なお私の世界を広く深くしてくれる阪大は、また顔を出しに帰りたいと思える大切な母校です。

入試案内

社会人・他学部出身者	法学部卒業生・法学部３年生
特別選抜	**一般選抜**
募集人員　20 名程度	募集人員　法学既修者コース　50 名程度 法学未修者コース　10 名程度
募集時期　８月中旬 出願に必要なもの ・適性試験１部～３部の成績 ・大学（学部）の成績 ・志望理由書（各種資格証明書、推薦書等の添付可）	募集時期　９月下旬 出願に必要なもの ・適性試験１部～３部の成績 ・大学（学部）の成績 ・志望理由書（各種資格証明書、推薦書等の添付可）
第一次選抜　８月下旬 書類審査により、募集人員の２～３倍程度を選抜する	第一次選抜　10 月中旬又は下旬 書類審査により、募集人員の４～５倍程度を選抜する
第二次選抜　９月 個別面接を行う	第二次選抜　10 月下旬又は 11 月 法学未修者コース…小論文試験 法学既修者コース…法律科目試験 公法（憲法、行政法） 民事法（民法、商法、民事訴訟法） 刑事法（刑法、刑事訴訟法）
合格発表　10 月	合格発表　12 月
法学未修者コース（３年間）	法学既修者コース（２年間）

●法科大学院全国統一適性試験の得点が本学の定める最低基準に達した者は出願資格があります。
最低基準点は、適性試験の総受験者の下位から概ね１５％程度を目安に設定し、ホームページにて速やかに公表します。
●法学部卒業生は、一般選抜の法学未修者コース（３年間）と法学既修者コース（２年間）に併願可能です。

1　社会人・他学部出身者向けの特別選抜

特別選抜（募集人員 20 名程度）は、職業経験を持つ人や法学部以外の学部・学科を卒業した人のための入試です。多様な問題意識を持ち、社会正義実現への使命感を持つ人に入学してほしいと考えています。そのため、第２次選抜では全員に面接試験を行います。社会人・他学部出身の人はこの特別選抜と一般選抜の両方に出願することができます。

2　学部３年生の受験が可能

一般選抜では、２年間で修了できる法学既修者コースへの出願ができます。法学既修者コースは、法学部や他の法科大学院などで法律科目の基礎をすでに修得している人向けのコースです。学部３年生が法学既修者コースに進学した場合、大学入学から５年間（学部３年間＋法科大学院２年間）で法科大学院の課程まで修了できます。法学既修者コースと法学未修者コースは併願可能です。

入試に関する日程や試験会場は、決定次第 WEB 上で速やかに公表します。

阪大　法科大学院